# 概要

主にセプチルゴン属の人々が話している言語。アトランティス語がどんどん変化してセプチルゴン語が出来た。実は陸語とほぼ同じ言語だったが、意思疎通を出来なくするため単語の意味が大幅に改変された。セプチルゴン語はいくつか派生言語があるが、文法はほぼ同じである。違うのは単語くらい。

# 文字

## 母音

a、i、u、e、o、ι、εの7つ

ι:aとiの間の発音。大文字は**Î**と書く。

ε:eとoの間の発音。大文字は**Ê**と書く。

## 子音

軽子音 k、s、t、n、h、m、r、l、pの9つ

重子音 g、j、d、vの4つ

# 品詞

セプチルゴン語の品詞には**名詞**、**代名詞**、**動詞**、**形容詞**、**副詞**、**疑問詞**、**助動詞**、**間接詞、感動詞**がある。

また、セプチルゴン語の特徴として

* 単語の先頭は大文字
* 人の名前や固有名詞は全部大文字
* be動詞がない
* 伸ばし音は母音を並べて表現する
* 撥音便は子音を重ねる

という点がある。

## 名詞

複数形は名詞の後に**su**を付ける

## 代名詞

名詞と同様に**su**を付けると複数形になる。

### 人称代名詞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 一人称単 | Îri | 一人称複 | Îrisu |
| 二人称単 | Îru | 二人称複 | Îrusu |
| 三人称単 | Îro | 三人称複 | Îrosu |

### 指示代名詞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| これ | yeki | これら | yegi |
| それ | yesi | それら | yezi |
| あれ | yeti | あれら | yedi |
| ここ | syeki |
| そこ | syesi |
| あそこ | syeti |

## 動詞

### 自動詞

目的語を要さない動詞。

Îru iNeker.(イァル イネケア)

あなたは走るだろう。

### 他動詞

目的語を要する動詞。

Îri oHorong "Matto".(イァリ オホロン マット)

私は鞄を持った。

いずれも動詞の前に1文字つけるが、必ず小文字。

### 活用

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 現在形 | V | Neker　(ネケア・走る) |
| 進行形 | hーV | hNeker　(ヒネケア・走っている) |
| 過去形 | oーV | oNeker　(オネケア・走った) |
| 受動形 | mーV | mNeker　(ミネケア・走られる) |
| 未来形 | iーV | iNeker　(イネケア・走るつもりだ or 走るだろう) |
| 仮定形 | rーV | rNeker　(リネケア・走るなら) |
| 否定仮法 | rnーV | rnNeker　(リンネケア・走っても) |
| 形容形 | jーV | jNeker　(ジネケア・走るような) |
| 副詞形 | sーV | sNeker　(シネケア・走るように) |
| 名詞形 | kーV | kNeker　(キネケア・走ること) |
| 使役形 | pーV | pNeker　(ピネケア・走らせる) |

### 意志形と推量形

未来形は、主語が1人称の場合は**意志形**、2,3人称の場合は**推量形**と呼ぶ。

### 複数活用

複数の動詞変形を組み合わせることもできる。

接頭語を付ける場合は日本語に訳した順番。

過去進行形→過去(o)進行(h)→接頭語は**oh**

受動仮定形→受動(m)仮定(r)→接頭語は**mr**

変形パターンは[一覧表](セプチルゴン語_動詞変形一覧.xlsx)を参照。

動詞変形が3つ以上合体したものもあるが複雑なので省略。

## 形容詞

## 副詞

## 疑問詞

疑問詞は必ず**文末**に置く**。**

## 間接詞

## 感動詞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Sik | こんにちは | Ul | はい |
| Sok | さようなら | Nul | いいえ |
| Mirim | ありがとう | Mirimol | どういたしまして |

# 文法

セプチルゴン語は英語と同じように**左から右へ**読み書きする。

肯定文には文末に**句点** .（ピリオド）を書く。

命令文は肯定文の文末に**強調詞 !** を書く。

疑問文は文末に**疑問詞 ?** を書く。

否定文は文末に**Nul**を付ける。

命令文は文末を伸ばして発音して肯定文と言い分ける。

Dan Rihho "Eluvεnsu"!(ダン リッホ エルヴェォンス！)

早く宿題をしなさい。

Îru Oruton "Vendjae" Ron?(イァル オルトン ベンジャー ロン)

あなたは何の動物が好きですか？

Êxootha Destroom Den Nul.(エォスォーサ デストローミュ デン ナル)

そこで遊ぶことは出来ない。

# 文型

SV、SVOO、SVCO、SVC構文で構成され、目的語を" "で囲う。セリフなどを表すときは' 'で囲う。補語(C)は英語とは逆の順番。

助動詞は動詞の後に付ける。実は主語も省略出来ることがある。(命令文など、主語が限られている場合)

# 方言

## ンリス弁

ンリッヒ(ほぼ全員)とルーメン(少数)とジスタージン(少数)の人が使ってる言語。西成国の侵攻により、ンリッヒ人話者が居なくなり、絶滅寸前の言語になる。因みに「ンリス」には「私たち」の意味がある。

【基本】

基本的にアルファベット(大・小文字)や"!"、"?"などを使う(英語と同じ)。アルファベットはンリス語では「ンルファベット」という。セプチルゴン語を話していた人たちが口を開くのが面倒くさく感じ、「ン」という発音が多くなった。最初の1文字目の発音が口を閉じたまま発音されることが殆どのため、日本語で「ン」から始まる言葉が多いとされる。

【母音】

a,i,u,e,o,n

「ウ」の段の発音をすることはあまりない。

「ン」が母音になっている。

子音単体では英語だとuの段の発音が多いけど、ンリス語は全てiの段の発音になる

※これより下はセプチルゴン語と違う部分のみをピックアップする

【文法】

目的語を"ⁿ"で囲う。この文字は意味や読みはない。ただの区切りを表す言葉。構文はセプチルゴン語と同じ。そのときに「ⁿ」が翻訳機では「ン、」となるのだ！つまりあの「ン、」がやたら多い文法は翻訳機によるものである。さらに、"N"から始まる単語が多すぎてゲシュタルト崩壊起こして先頭に"N"が付く単語は「ン、(本来の意味)」となる仕様になっていた。

例文

Nr oNras ⁿNttoⁿ.(ンリ ンラス ンット)

私は鞄を持った。